



2026年1月19日

本州四国連絡高速道路株式会社
しまなみ今治管理センター

今治市との官民共同でのアクセルトレーニングの実証実験について

本州四国連絡高速道路株式会社しまなみ今治管理センターは、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、今治市（市長：徳永繁樹）と連携し、アクセルトレーニングの官民共同実証実験を実施します。

本実証実験では、燃費改善や意識変容、行動変容の効果を確認し、今治市と定期的に情報共有しながら、官民が協力して脱炭素と安全運転の習慣化を進めることを目的としています。これにより交通事故の抑制に努めるとともに、地域全体で取り組む脱炭素のモデルケースとして、ソーシャルインパクトのきっかけとなるよう取り組みを進めてまいります。

当センターは、美しい瀬戸内の環境を次世代につなぐため、事業活動を通じて瀬戸内地域の脱炭素化と持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

<取り組みの概要>

アクセルトレーニングとは

「自動車の発進時、時速 20 キロに到達するまで 5 秒かける」というアクセル操作の踏み込み方法 1 つに絞って習慣化させること。通常運転と比べてガソリンの消費が約 1 割抑制されるとともに、前方車両との車間距離が安定的に確保されるようになることから、誰もが安全な運転習慣も身に付けることができる。

(開発者：株式会社 A. R. M. S)

実証期間：2か月

対象台数：社用車 5 台

※車載器搭載によるアクセル操作の見える化

参考リンク

今治市アクセルトレーニング関連資料 <https://www.city.imabari.ehime.jp/kankyou/acceltraining/>